

HAKUOH JHS NEWS

白鷗大学足利中学校新聞 -vol.90-



発行所 / 白鷗大学足利中学校新聞委員会 足利市伊勢南町4-3 TEL.0284-42-1131



総合優勝
組別集団演技最優秀賞

2冠達成

赤組

10月6日、前日の雨により少しグラウンドの状態が悪かったものの、秋晴れに恵まれた体育祭。本校の体育祭は、学年の枠を越え、縦割りの4組対抗で行われる。3年生が中心となり競技の練習はもちろん、集団演技の練習にも時間をかけ、優勝の2文字に向かい練習を続けてきた。今年度のテーマは「変革」。変わり改まることという意味だ。このテーマをもとに集団演技の構成が決まる。各組とも趣向を凝らし、音源を太鼓と自らの声のみとした演舞などの工夫が見られた。限られた時間と練習場所をうまく使い、みんなで力を合わせ一致団結することができた。

来年は、先輩方の長い歴史と伝統を受け継ぎ、創意工夫をこらした個性豊かな、企画、運営を行い、更に素晴らしい体育祭へと発展させていきたいと思う。

体育祭スローガン

平成最後の絆の戦い。 心はひとつ、最後は笑顔

奇跡の二冠

赤組組長 立川 奏羽

全ての競技が終わわり、成績発表を待つその時、緊張、期待の気持ちで僕の心はいっぱいだった。そして、結果が発表された瞬間、あまりの嬉しさに飛び上がり喜んだ。そう、我ら赤組は、「総合優勝」、「組別集団演技最優秀賞」の二冠を達成したのだ！

赤組の集団演技では、振り付けはもちろん、和太鼓、そして自らの声も重要であった。練習では音源に頼らない分、苦戦する事も多々あったが、3年生で協力し、1・2年生は必死についてきてくれた。そんな悪戦苦闘の日々を乗り越え完成した我らの「演舞」。本番では、練習以上に和太鼓の壮大な音と、全員の力強い声が校庭中に響き渡った。他の競技でも、集団演技で得た団結力が生かされたからこそ、手にすることができた。「二冠」だと確信している。心をひとつにし、勝利を誓い合った赤組の仲間、そして顧問の星野先生、副顧問の上野先生に感謝の気持ちを抱きたい。「最高の思い出があり

体育祭当日、前半は副顧問の滝沢先生から教えてもらった、「スーパードキ」を使ったおかげで、多くの点数を取ることが出来ました。綱引きでは「全勝」という結果を残し、他の組との点差を広げていきました。しかし、後半は、あまり得点が取れず、どんどん差を詰められてしまいました。結果発表の時、「準備優勝：緑組！」というアナウンスを聞き涙がこぼれました。一緒に泣いた仲間たちとの体育祭は一



自分たちより頑張った組

緑組組長 藤倉 心結

今年の体育祭は、「緑組が絶対に二冠するぞ！」という目標を緑組は立てました。この目標を達成するために、集団演技や競技の練習を試行錯誤しながら、みんなで一生懸命取り組みました。

中学最後の体育祭

黄組組長 七原 廣哉

生忘れることはないと思います。最後に、顧問の宮田先生が「俺たち緑組は本当によく頑張った。けど、それよりも頑張った組があった。それだけのことだ。」と話してくれました。優勝は出来なかったけれど、私たちに頑張った結果に悔いはありません。



僕が今回の体育祭で一番印象に残っているのは、集団演技です。僕は組長として、この中学校生活最後の体育祭に挑みました。体育祭一週間前、黄組の集団演技は難易度が高く、数も多かったのとでも演技と呼べるような状態ではありませんでした。そこで、一人ひとりに声をかけ、お互いに

一番大切なもの

青組組長 阿部 貴世良

僕たち青組は総合、集団演技、どちらとも賞をとることができませんでしたが、しかし、この体育祭で賞よりも大切なものを見つけたことが出来ました。それは、「みんなが一つの目標に向かっていくその過程が一番大切」ということです。もちろん、賞を貰えるに越したことはありません。けれど、賞を獲得するために、みんなで一致団結し練習した時間は、何事にも代えがたい大切なものだと感じました。集団演技の構成、音響、どの競技に出場するかなど、一つひとつが良い思い出です。僕は、この素晴らしいメンバーと一緒に体

育祭を行うことが出来たのを誇りに思います。僕たち青組3年生は最後まで全力でやりました。この姿を見て、1・2年生が来年の体育祭は、今年よりも良いものにするぞ!!と少しでも思ってくれたら嬉しいです。最高の時間をありがとうございました。



白鷗大学足利中学校入学試験のご案内

	試験日	願書受付期間
第2回 一般入試	平成31年 1月26日(土)	平成31年 1月21日(月)~ 1月23日(水)

TEL.0284-42-1131 詳しくは 白鷗大学足利中学校 検索



テーマは同じでも
3年 遠藤 心美

今年のキャンプファイヤーのテーマは、昨年引き続き「民族」。しかし、昨年とテーマは同じでも、昨年よりも盛り上がるプログラムにしようと、みんなで話し合いました。その結果、民族対抗のゲームだけでなく、ウォークラリー実行委員と協力し、新しいものをつくり上げることになりました。様々な準備を経て迎えた当日、最初はごちなくスタートしたものの、最後には、みんなが「楽しかった」と言ってくれるほどすばらしいものとなりました。

頼もしい2人の副委員長に支えられ、みんなで協力し合えたこの委員会が委員長の仕事ができ、本当に良かったです。良い思い出をありがとうございました！

初めは、楽しみよりも不安の方が大きく緊張していました。しかし、それぞれが担当するゲームごとに分かれて、内容や細かいルールについて話し合っているうちに、次第に緊張もほぐれ、楽しく活動できるようになりました。



「3年生3人で、1・2年生をしつかりまとめられるかな...」

楽しかった室内レク
3年 清水 陸

志賀高原
7/30~8/1

林間学校



「何か聞こえるね」
そんな話をしながら、CP(チェックポイント)2からCP3へ向かう下り坂を歩いていると、私たちの目の前に驚きの光景が広がりました。そう、数十頭の猿の群れと遭遇したのです。このまま先へは進めないと判断し、CP2へ戻ることになりました。あの時、みんな声を掛け合いながら登ったときの光景は、今も目に焼きついてきます。

何が起きてても、どんなときも、実行委員や先生方と一緒に協力して、無事に終えることが出来たので、大成功だったと思います。3年間続けたウォークラリーが一番濃い思い出になりました。笑顔溢れるウォークラリーをありがとうございました。

この経験は私にとってとても貴重なものとなりました。

忘れられない思い出
3年 影山 莉央

できました。室内レクは大成りに終わり、終了後、先生方が褒めてくださったのがとてもうれしかったです。この経験は私にとってとても貴重なものとなりました。

体育デー
10月26日(金)



体育デーが開催されました。結果は以下の通りです。尚、卓球男子決勝戦の後、エキシビジョンマッチとして優勝した清水君対中戸校長先生の試合が行われました。

- **バドミントン男子**
優勝 阿部 貴世良・金子 智哉ペア(3-2)
準優勝 高田 羽玖・長島 匠海ペア(3-2)
第3位 綾部 光真・松島 嵩ペア(2-1)
- **卓球男子**
優勝 清水 誠彦(3-1)
準優勝 湯淺 颯太(1-2)
第3位 長島 知哉(3-2)
- **バドミントン女子**
優勝 木村 光希・藤倉 心結ペア(3-2)
準優勝 穴山 美天愛・鈴木 凜ペア(2-1)
第3位 加持 千尋・後藤 帆香ペア(3-2)
- **卓球女子**
優勝 村里 音寧(2-1)
準優勝 別府 莉緒(3-2)
第3位 小田 千桜(2-1)

合唱祭開催! 11月22日(木)

～課題曲～
3年「旅立ちの時～Asian Dream Song～」
2年「心の瞳」 1年「マイ・バラード」

～自由曲～
3年1組「ヒカレ」 3年2組「HEIWAの鐘」
2年1組「なんでもないや」 2年2組「RAIN」
1年1組「YELL」 1年2組「サザンカ」

～有志合唱～
うたとも「結 -ゆい-」
「見上げてごらん夜の星を」

～審査結果～
【最優秀賞】3年2組
【優秀賞】3年1組
【最優秀指揮者賞】阿部 貴世良
【最優秀伴奏者賞】金子 智哉

【講評】やはり3年生だな。と思わせてくれた合唱祭でした。1年生、2年生もよく声が出ていて、例年になくレベルが高かったなと感じました。また、うたどもの皆様の歌声が素晴らしく、生徒のお手本としてとても参考になりました。生徒の皆さん、うたどもの皆さん、素敵な歌声をありがとうございました。
川崎 由佳

驚きの連発 3年 後藤 帆香

「やっとアメリカに着いた！これからどんな出会いが待っているのだろう。」アメリカに着き飛行機から降りた私の思いです。空港で見るものすべてが英語。日本語がどこにもないことに不思議とワクワクしていました。スプリングフィールドのホテルで初めてホストファミリーと会う時、言葉が通じなかったらどうしよう。アメリカの文化に馴染めなかったらどうしよう。など多くの不安が私の頭を駆け巡っていました。その時です。「Hi,Honoka!」とホストファミリーの家族みんなが明るく笑顔で私を出迎えてくれました。挨拶を済ませ、家に帰る車に乗ると質問攻めが待っていました。「明日は何がしたい?」「何か食べたいものはある?」と私の希望を沢山聞いてくれました。質問に答えている内に、自然と笑みを浮かべている自分に気がきました。私が10日間もの間、毎日楽しく過ごすことが出来たのは、こうしたホストファミリーの優しさがあったからだと思います。

今回アメリカに行き感じたことが3つあります。
1つ目は、『学校の雰囲気が日本と全く違うこと』です。ソファのある教室があったり、授業中に水を飲んだり、席を立てて相談し合ったり...。その自由な行動に驚きましたが、全員が「自分のため」に勉強しているのだなと強く感じました。
2つ目は『自分たちの街を誇りに思っていること』です。私のホストファミリーはリンカーンについて様々なことを知っていて、「We love Lincoln,」と言い、たくさん話を聞かせてくれました。さらに、車で街中を走っていると、外に見える大豆畑や有名な建物など詳しく説明してくれました。アメリカの人たちが自分の街を誇りに思っていることが、すごく素敵だなと感じたと同時に、私も自分の国、県、町、に誇りを持って自慢出来るようになりたいと思いました。

3つ目は『食文化の違い』です。大きなピザ、大きなハンバーガー、私の顔が2つ以上入りそうなパンケーキなど、アメリカのサイズの大きさには驚きました。私は日本の食文化を伝えようと、ホストファミリーと一緒に好み焼きを作りました。出来上がった好み焼きを「Oh! It's so good!」と言っておいしそうに食べてくれたのがとても嬉しかったです。ホストファミリーと過ごした10日間は、私にとって一生忘れられない、とても大切な経験になりました。優しくお茶目なホストファーザー、明るくおしゃべりなホストマザー、そしてちょっとクールなLizzy。私はこの3人と出会って最高の訪米になりました。
Thank you very much!

